



治療選択のジレンマ

ある日、「最近、背中

が痛いんだよね。前には、心筋梗塞をやったときの痛みと同じなんだよ」と、もう数年にわたって診察をしているいつも柔和な



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

なっていて、病院で寝たきりにならざるを得ない状態に陥り、医師の治療方針は、常に患者の生活、死生観、家族の考えなどがより色濃

[まつばらホームクリニック]
 ☎042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応: 午前 9:00 ~ 午後 6:00
 ■定休日: 土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域: 西東京市、奥久留米、新座、練馬の一部
 まつばらホームクリニック 検索



顔の男性患者が、ややつた。家でできる範囲で治す。ときに在宅医療にしようしていました。療してほしい」と強い意志を示されました。きつともっと良くなるの

いた。しばらくすると、そこで不整脈の一因と心室頻拍という命に関わった心筋梗塞に対して不整脈が出てきました。薬剤の追加対応としまして、それよりも患者家族

た。そこで薬剤の点滴静注投与をしましたが、治らなかつた。ところが、先生のお陰で痛みが楽になったよ。病気を診るより人を診ることが、在宅医療ではより大切であると